

# 術後病衣に必要な機能とデザインの抽出

## 患者・医療従事者の両面から

1. **研究対象**：2016年8月から2017年1月までに国立がん研究センター東病院にて、がんに対する手術を受けた患者さんを対象とします。解析期間も含めて研究期間は2017年3月31日です。

### 2. **研究目的・方法**

がん治療に対して手術を受ける患者さんは、一般に市販されている寝衣や部屋着を着用していただき、術後も生活していただいている実状があります。しかし、点滴や尿道カテーテル、胸部や腹部に術後のドレーンが留置されている状態での入院中の生活においては、患者本人・医療従事者の両面から不自由を感じる人が多いです。

今回の研究によって機能的で質の高い入院治療生活を送り、かつ医療従事者が管理しやすい病衣の開発のため手術入院時に最も適した病衣のデザインへの要望を抽出していくことが目的です。

手術を行った臓器別（食道・胃・大腸・肺・肝胆膵）の患者さんを対象として、機能・嗜好の両面を患者及び医療関係者からアンケート形式で要望を聞きます。アンケート結果を基に評価・解析に、手術入院中の病衣として適したデザインを考えていきます。

研究期間：8ヶ月

### 3. **研究に用いる試料・情報の種類**

**情報**：アンケート調査用紙

**試料**：無し

### 4. **試料・情報の公表**

本研究終了後に研究者はその成果をまとめ、学会にて発表する。

国立がん研究センターの公式ホームページにおいて研究概要の公開を行う。公開する事項は、当該研究の意義、目的、方法、研究機関名、問い合わせ、苦情等の窓口の連絡先に関する情報とする。

### 5. **お問い合わせ先**

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

大幸宏幸

国立がん研究センター東病院 食道外科 科長

〒277-8577 千葉県柏市柏の葉 6-5-1

TEL:04-7133-1111 (内線 91622)

Fax:04-7134-6917

E-mail [hdaikou@east.ncc.go.jp](mailto:hdaikou@east.ncc.go.jp)

研究責任者：上記で研究責任者